大学で学んでみようか

新たな価値を創造し…

授業料はさほど高くない



木原 伸雄(マルコシ創業者)

同級生で大学進学者が一名、 する「サイバー大学」と 高校は四名。人間は面白い 助けて働いた。四十四名の それが当たり前の世の中だ 生きものだ。八十歳になっ 校は一年で中退、祖父母を は草履をつくっていた。高 から疑問も持たず、夜なべ から帰ると農業の手伝い った。ソフトバンクが経営 て大学で学ぼうかと思い立 登校しなくてもよい

校時代も中学校時代も学校 は与えられなかった。小学 い訳がましいが勉強の時間 家業の手伝いが忙しく、言 わたしたちの青春時代は

とあり、

外国語科目とある。

ートフォンやタブレットが ン、自然科学、人文科学、 最長八年まで在籍できる。 込んでしまえば易しい 示してあるが、生活に組み 映像や音声を伝えてくれる。 カタカナの多いこと。スマ コースに分かれる。しかし ユニケーションコースと三 ビジネスコース、ITコミ 目はテクノロジーコース、 教養科目はキャリアデザイ 学ぶ。仕事や家庭の都合で 目、三~四年で専門科目を 週間の受講管理モデルが 「先端の技術が学べる…」 一〜二年は教養科 専門科 今年は申し込みが間に合わ 業までたどりつければ孫に のねらいもあり、 の米寿になる。認知症予防 業が順調にいって八十八歳 だ。来期入学するとして卒 ないし、時間の調整も必要 から平気である。ただし、 が、顔を合わすことはない いい歳をしてと笑われよう ンクだから怪しくはない 千円掛かる。開学は二〇〇 三千円、合計百五十六万八 目から六年目まで二十四万 年間三十五万三千円、二年 七年四月、経営はソフトバ も自慢が出来る。 学費は入試料など含めて



わたしの町のフォ

3万2000世帯へ

URL:http://www.marukoshi.ip

マルコシ リフォーム 検索

■豊かな街づくりを願って、安心創造企業 ■配布地域/安佐北区 中区 東区 ■年4回発行。

●編集・発行/マルコシ・フォーラム編集室

〒739-1731 広島市安佐北区落合4-1-7 ☎843-9981

大切な場所 るが、最近 と思ってい 床の間を配 欠かせない 日本建築に した和室は

和室から洋 若い世代で 増えている。 フォームが 室 一へのリ 産 合いは、見る人の心をやさ 自然の優美さが醸し出す風

ころか和室 は床の間ど や畳不要論 を彩る。住む人の人柄が滲 掛けられ、優美な花が辺り み出て好ましい。 しく包んでくれる。 さっそく床の間には軸が

・床の間のはなし~

床の間のルーツは?

域を出ない。 あったと思うが、残念なが ら遺構など見当らず推測の 床の間は遠く上 一代から

代としては、 で育った世 い。畳の上 も少なくな

発展する過程でカタチが整 が寝殿造りから書院造りに 桃山時代以降、住宅様式

い入れも強く力も入る。 の和室リフォームには、思 る。それだけに床の間付き 極めて寂しい思いがしてい

天然絞りの北山杉(京都



間の仕事をさせてもらった ム工事で、久し振りに床の 日本家屋には床の間が似合う

十月に完成したリフォー

教則など配置されている。 い棚、唐箱、鏡箱、鏡台、 敷物があって、周りには違 絵巻物などで見ると、面白 が立てられている。 このほか随所に几帳や屏風 いことに気付く。畳などの

間だったのではないか。 われる。極めて開放的な空 家具や調度を配置して、 できる調度だったようだ。 活が機能していたように思 どの固定した界壁はなく、 浴室や便所さえも、 後世のように間仕切りな 移動 生 乱暴な私見である。

八四五)と伝えられる。彼 の説く書院造りの記述によ だなたり》(一七七五~一 国学者・沢田 名垂《さわ を書いたのは、江戸後期の は框式が多い。 式と框式があるが、 床脇は上に天袋、下に地 床の構造形式には蹴込み 現代で

ると、その一部に「書院床、

袋という戸棚があり、その

していない。

の間らしきものを彷彿さ 袋棚などありて…」と、

取り付けられている。この 間に段違いの二段の棚板が 棚を「違い棚」と呼ぶ。 いう説がある。窓に向けて 出文机」と呼ばれていた。 書院のルーツは書斎だと

側に向かって造り出され、 飾りの一つになったが、 名残りをとどめている。 机状に地板を置き機能性の 机が造り付けになっていて 本来の機能と離れて座敷 の意義と機能は後世に遺し て欲しいと願っている。

日本住宅史の最初の概説 床の間の諸説

床、床脇と並ぶのが定石で しても造られる南側が縁側 庭木の裏を見ることになる。 もちろんだが、縁側と関連 られると、樹木の性質から で西座敷、正面左から書院、 ある。ただし南側に庭が作 般的に床の間は座敷は い聖なる場所、家風・伝統 かつてのように犯しがた

■進んで幸福を求めない

から見れば、やがて消え去 世代の郷愁に過ぎない現状 わったとしても、秩序と美 しさを保つために、床の間 たとえ現代風にカタチが変 る運命にあるのだろうか。 位置付けは還暦世代、古稀 言葉はあるが、家長などの 「床柱を背負う」という

二の丸御殿大広間

室などには、床の間が単独 とも茶室や簡略化された和 で構えられている。 た座敷飾りであろう。もっ とセットになって構成され えられ、違い棚や書院など せる。

どから復元を試みるしかな する記録、物語、絵巻物な 行なわれた行事や儀式に関 いがはっきりしない。 く発見されていないので、 詳しく知るにはその時代に 寝殿造りのインテリアを 寝殿造りの遺構はまった る。 屁理屈に過ぎるかもしれ

は、

床柱によく似合う。

の故実家・伊勢貞丈《いせ初に提唱した江戸時代中期 記の沢田名垂も継承してい に記述がある。この説は前 一七八四)の ていじょう》(一七一七~ は発生したといわれる。 光生したといわれる。最説には仏壇から床の間 「貞丈雑記

だろうか。これはまったく と解釈すれば分かりやすい。 は板敷き、つまりフロアー 所と意味付けるのはいかが ては、それ自体が神聖な場 にあり、床の間の機能とし 床(とこ)は一段高い場所 は座であり 「床」 (ゆか) 詳細は省くが「床」(とこ) それとも「ゆか」なのか、 ないが、床は「とこ」なのか を「狆潜り」という。 を入れて下を空ける。これ にすることもあるが、無目 などの根杢板を艶出しにし 床地板は欅(けやき)、松(ま 現われた。「平書院」という て張るのが古風である。 つ)、楠(くす)、栃(とち) かり障子のみ立てた書院が 床と床脇の境界は全面壁

■友は得がたいもの。

古

友人を大切にせよ

床の間の行く末

■利益に進んで飛び付く

善行は人に後れをとる。

床の間の形式 そこに掛ける軸などあるの は低く、知識は乏しい。 として、住まい作りを仕事 ろうか。生活者はともかく だろうか。そう考えるだけ にしている若い人にも意識 てどのように考えているだ でも行く末は見えている。 床の間を造ったとしても 若い世代は床の間につい

序を護る座敷としては機能 を継承する空間、家族の秩 ■立派な人物になりたい は捨てることだ。それ 思ったら、 どと思わぬこと 思ったら偉くなりたい 進んで幸福は求めない。 節操の固い人物は自か 立派な人物になりたい 天はその心に惚れ込ん けで一流の人物と言っ 窓を開いてくれる。 下らない野

■人生の海は果てしない 平成30年

生きるコツ

今を楽しむのが安らか

年の抱負





ぼるな。修養はできる 報酬は限度を超えてむ

りの努力を怠るな。

和宏









を吸収することができるっていても、天地の生気は、粗末な布団にくるま精神が充実しているとき

精神が充実していると





平見 孝志



伏見稲荷大社御茶屋

人生を豊かにするため

■心が充実していれば、

生は楽しい

第四章

2018年

木原原

人生を豊かにする

菜根譚」のことば



由貴









木原 隆男



りの心をもって接したい以前よりもいっそう労わはに新しい気持ちで付きねに新しい気持ちで付きないがい。

合いたい。お年寄りに



永田美絵子明朗闊達

